

訪して相償、効果アリ其、湖濱廳請停課、幹旋アリテ十九日工場側より長岡我部代表吉田 某等傷者側より山本富嘉外四名出席交渉ノ結果左記條件ニテ圓滿解決セリ

記

一八名(一名脱退)ノ解雇職工ニ日給各三十七日分支給但シ六月以上ノ勤続者ニハ別ニ一封ヲ加フ
 二爭議中ノ年費トシテ金一封二百五十圓ヲ支給ノコト
 三残留職工十九名ハ二十三日より就業スルコト
 右及申(通)報候也

5. 7. 1. 6
 1442

労務第二二五三號

昭和五年七月十五日

警視總監 丸山 鶴 吉

七、二、一、六、二、四
 調査表之

内務大臣 安達謙藏 殿
 社會局長 官 殿
 大坂神奈川京都各府縣知事 殿

七、二 解決七、二四
 二〇二四廿二
 労働組合 同
 子々小鉄之

東京亞鉛鍍金株式会社ノ労働爭議ニ関スル件(第一報一為生)
 要旨 会社ハ營業不振ノ結果至極困難ニ陥リ本月十日全職工ニ對シ賃金低下ヲ申渡シタルニ之ニ反對シ惣同盟東京各職工組合ノ存続ヲ得テ抗争中

一爭議發生ノ場所 東京府南葛飾郡砂町大字八右二門二一〇番地
 二事業主側 名 稱 東京亞鉛鍍金株式会社